

前期学校評価の結果の分析と 後期に向けての 取り組みについて

令和8年 9月 9日

令和8年度 第三回 学校運営協会

アンケートについて

生徒
アンケート
生徒数：450
回答数：335

1 % $\div$ 3.4人
1人 $\div$ 0.3%

保護者
アンケート
保護者数：418
回答数：202

1 % $\div$ 2.0人
1人 $\div$ 0.5%

教員
アンケート
教員数：28
回答数：27

1 % $\div$ 0.3人
1人 $\div$ 3.7%

「基礎基本を活かし探究する力」の育成

問1 授業の中で、主体的に取り組む場面や思考を深める場面はありましたか。

どちらかというと思わない

1%

そう思わない…

どちらとも言えない

5%

どちらかというと思う

41%

そう思う

53%

問1 授業公開などを参観される中で、お子さんが主体的に取り組む場面や思考を深める場面はありましたか。

どちらかというと思わない

4%

どちらとも言えない

30%

そう思わない

2%

そう思う

23%

どちらかというと思う

41%

問1 授業において、生徒に主体的に取り組ませたり、思考を深めさせたりする時間を設けましたか。

どちらかというと思わない

0%

どちらとも言えない

4%

どちらかというと思う

59%

そう思わない

0%

そう思う

37%

結果分析

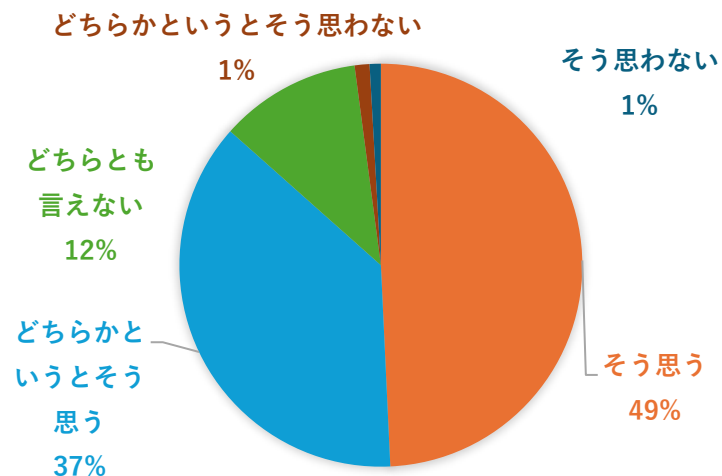
- ・教員・生徒と保護者の肯定意見の割合に乖離がある。
- ・保護者から見ると、主体的に取り組む場面が少ないように感じられたのかもしれない。

後期への取り組み

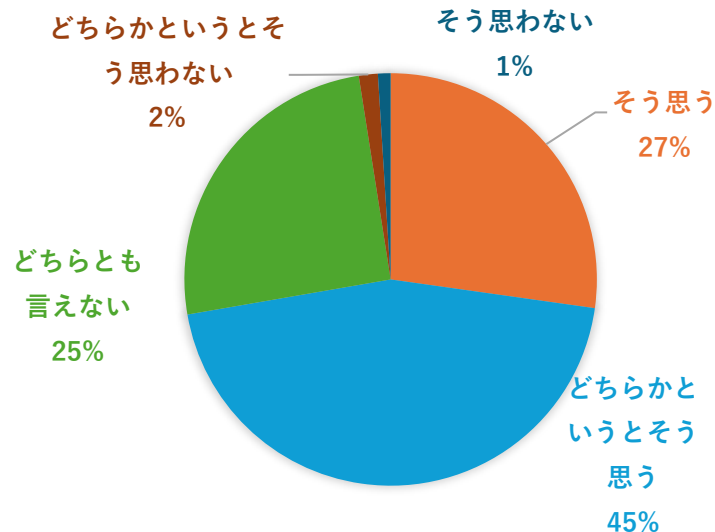
- ・田無二中授業スタンダードを用い、改めて自身の授業を振り返る機会を設け、授業改善につなげる。
- ・授業スタンダードの主体的な取り組みを行う項目について、達成できたかを進路指導部で確認、分析を行い、全体にフィードバックをすることで、授業力の底上げを図る。

「基礎基本を活かし探究する力」の育成

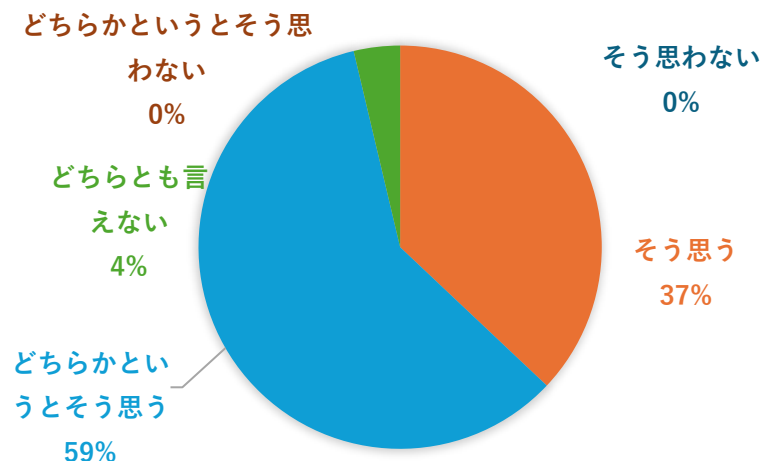
問2 授業において、友達と話し合ったり、発表したり、自ら表現する活動は、学習が身に付きやすいと感じますか。



問2 授業公開などを参観される中で、話し合いや発表活動など、生徒の学習理解や定着を促すような場面はありましたか。



問2 授業において、生徒の学習定着や学びを深められるようなアウトプット（表現活動）を工夫し、実践することができましたか。



結果分析

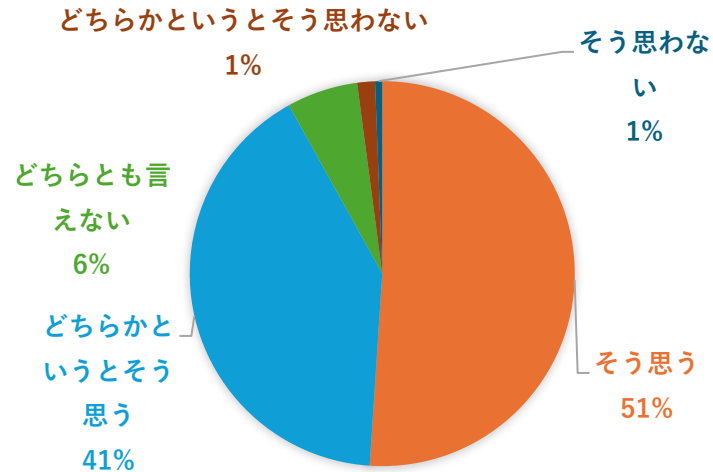
- ・教員・生徒と保護者の肯定意見の割合にやや乖離がある。
- ・保護者から見ると、アウトプットの場面が少ないように感じられたのかもしれない。

後期への取り組み

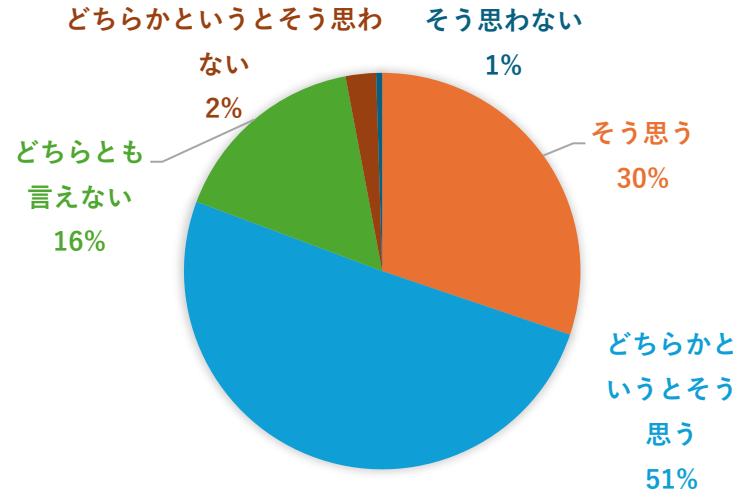
- ・田無二中授業スタンダードを用い、改めて自身の授業を振り返る機会を設け、授業改善につなげる。
- ・授業スタンダードのアウトプットを行ったかの項目について、達成できたかを進路指導部で確認、分析を行い、全体にフィードバックをすることで、授業力の底上げを図る。

「豊かな感性・実践力」の育成

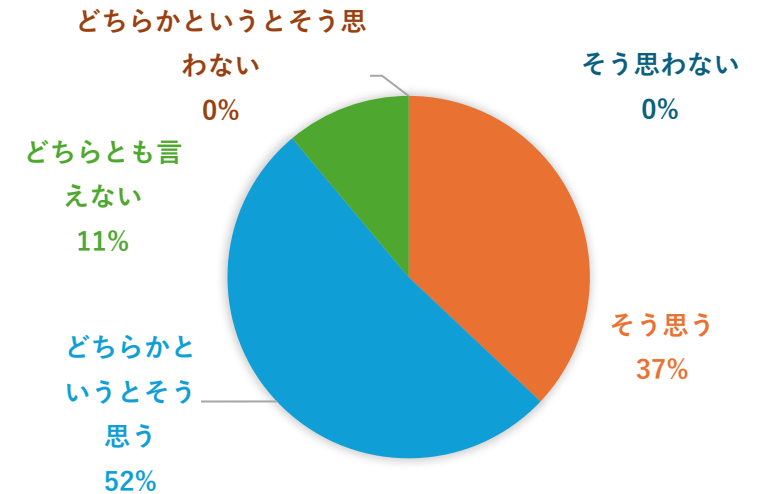
問3 授業や話し合い活動で、自分とは異なる意見や考え方を受け止めながら学習することができますか。



問3 お子さんは、授業や学校生活を通して、自分とは異なる考え方や価値観を尊重する態度を身に付けていると思いますか。



問3 授業において、生徒が多様な考え方に触れ、互いの意見を尊重しながら学び合う場面を設定できていますか。



結果分析

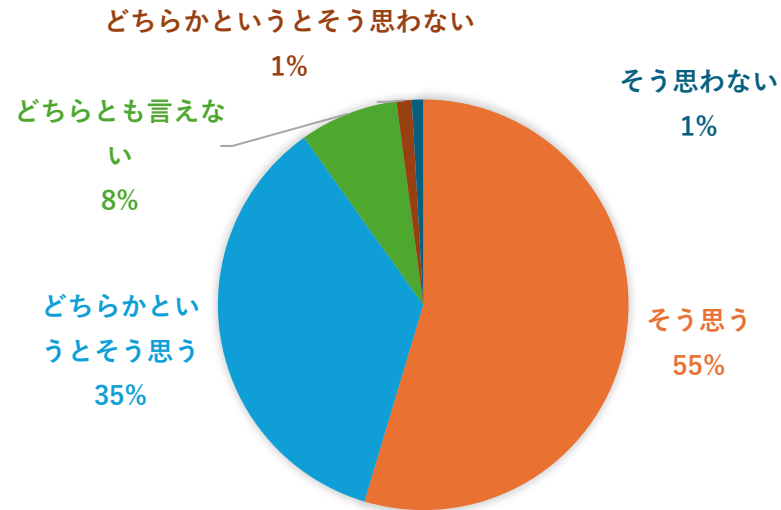
- ・多くの生徒及び保護者が自分とは異なる考え方を尊重していると感じている。
- ・教員でどちらとも言えないと回答したのが11%存在する。

後期への取り組み

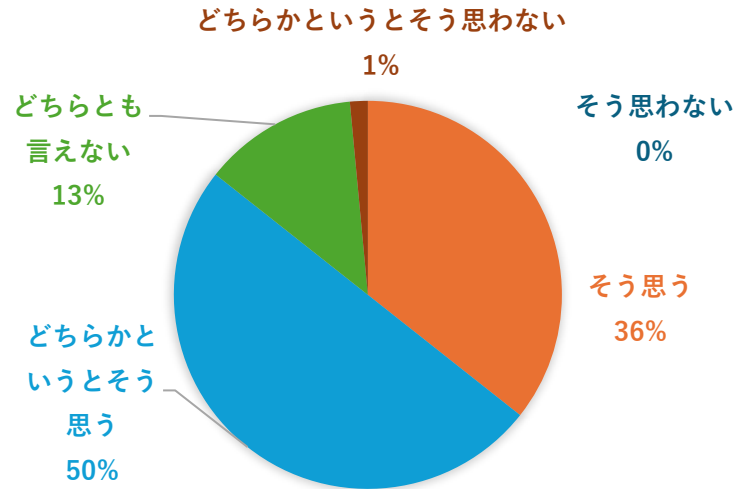
- ・引き続き、授業における対話活動やグループ活を設定し、多様な考えを交流させ、意味づけ価値づけをする。
- ・意図的計画的に授業を行う。

「豊かな感性・実践力」の育成

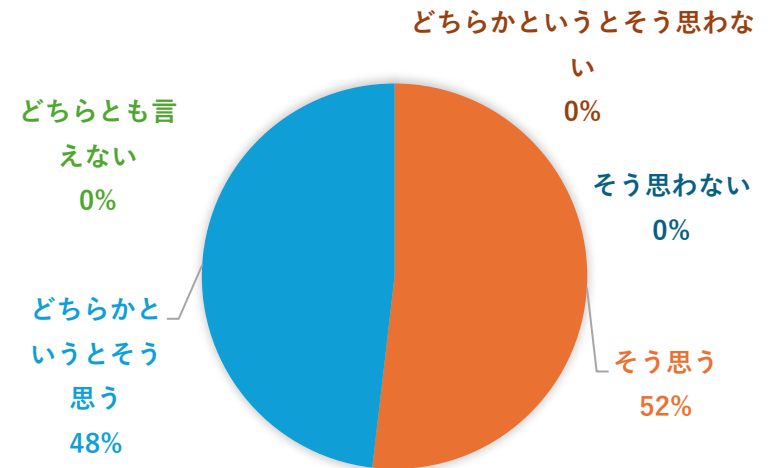
問4 あなたは、相手の立場や気持ちを考えながら行動し、安心して学校生活を送ることができていますか。



問4 お子さんは、相手の立場や気持ちを考えて行動し、互いを尊重する意識を身に付けていると思いますか。



問4 いじめの未然防止・早期発見に向けて、生徒が他者理解や人権意識を高める教育活動を計画的に実施できていますか。



結果分析

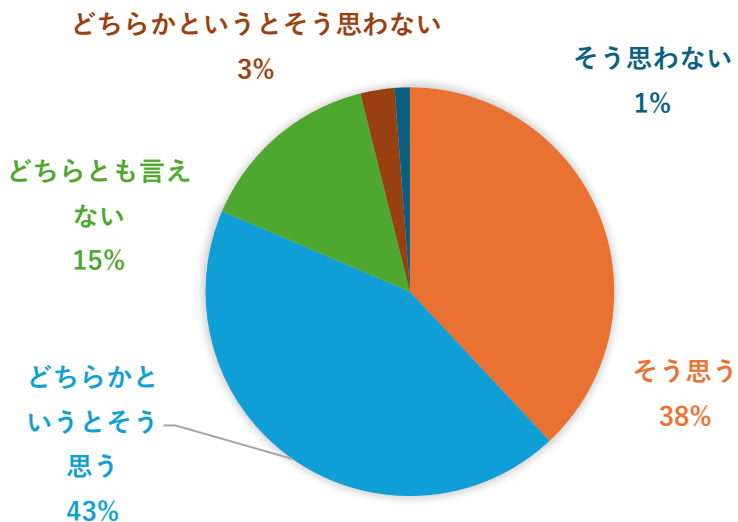
- ・生徒・保護者は前項目「問3」と似た傾向である。
- ・教員は全て肯定的回答である。

後期への取り組み

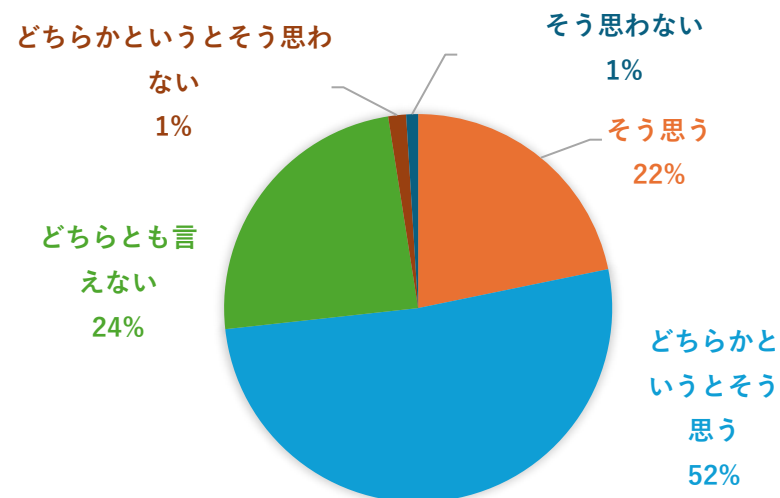
- ・安心して学校生活を送るために、相談しやすい環境づくりに努める。
- ・道德の授業等で、登場人物等の立場を考える設問を設定する。

「キャリア形成・自己実現」の支援

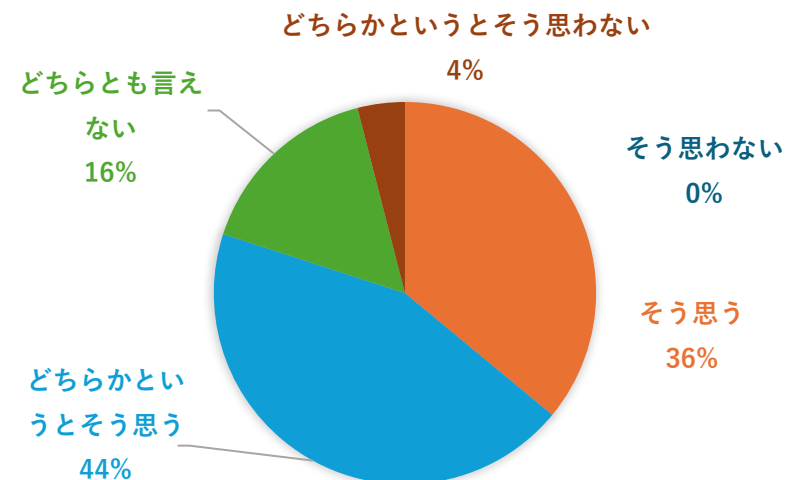
問5 キャリアパスポートの作成をとおして、現在の学びを見つめ、未来へとつなげる意識をもつことができましたか。



問5 本校のキャリア教育は、生徒に学びを未来へとつなげる意識をもたせることができていると思いますか。



問5 キャリア教育によって、現在の学びを見つめ、未来へとつなげる意識をもたせることができましたか。



結果分析

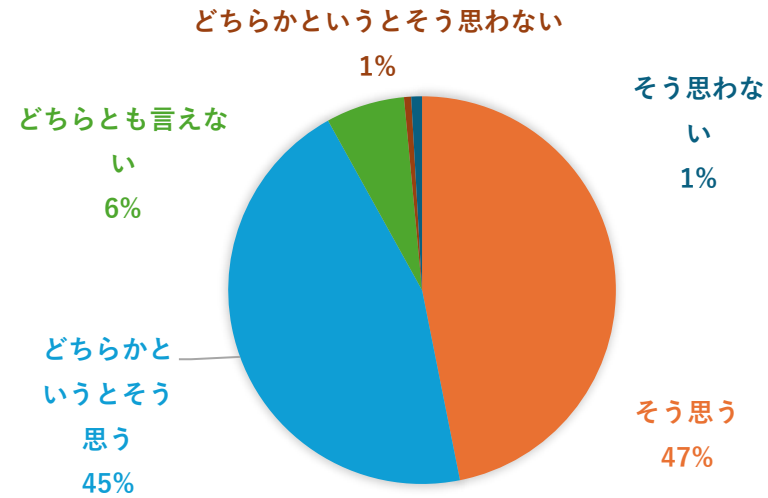
- ・教員・生徒・保護者で間で、肯定意見の乖離はあまりないが、「どちらとも言えない」の保護者の割合が比較的高い。
- ・キャリアパスポート等のキャリア教育の取組が保護者に伝わっていない可能性がある。

後期への取り組み

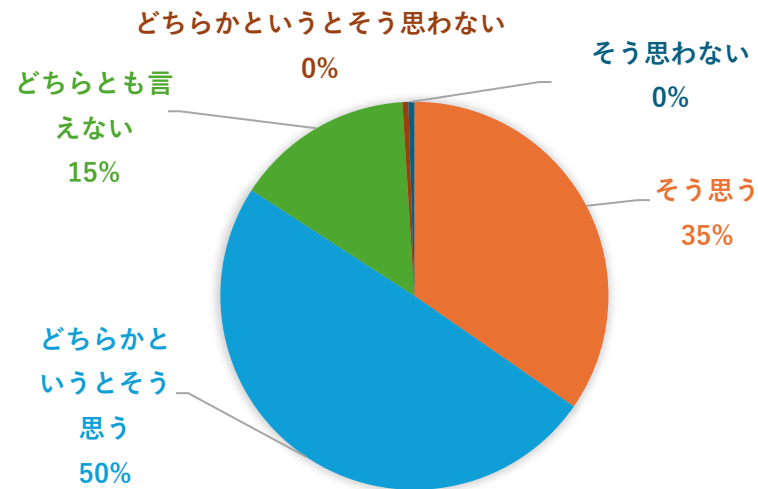
- ・キャリア教育はキャリアパスポートだけではなく、まずはキャリアパスポートの取組を保護者に理解してもらう必要があると考える。キャリアパスポートに保護者確認欄を設けることも検討する。

「キャリア形成・自己実現」の支援

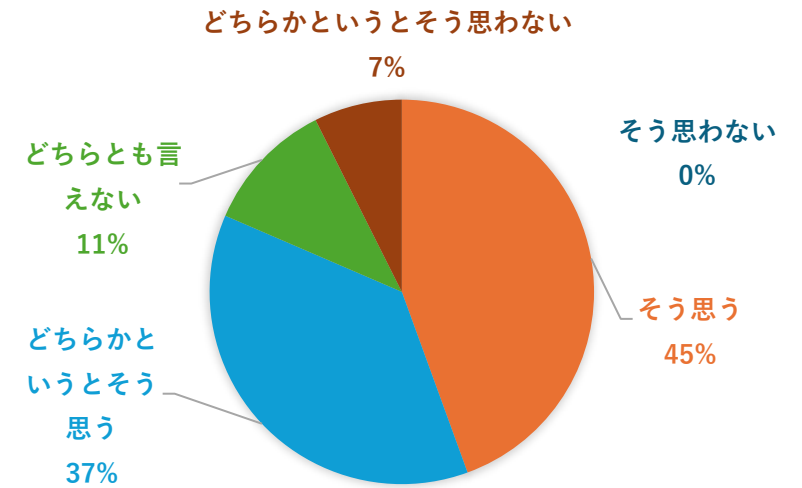
問6 ふるさと探究学習をととして、地域社会とのつながりを実感することができましたか。



問6 本校でのふるさと探究学習の取り組みは、地域社会とのつながりを意識させるのに十分だと思いますか。



問6 ふるさと探究学習をととして、地域社会とのつながりを実感させることができましたか。



結果分析

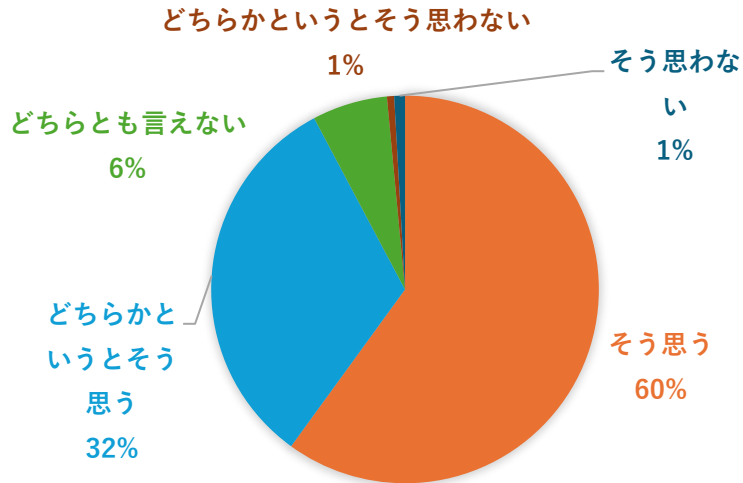
- ・ 肯定意見の割合が教員・生徒・保護者であまり乖離がなく、かつ比較的高い。
- ・ ふるさと探究の取組が充実しており、保護者からの理解も得られていることがうかがえる。

後期への取り組み

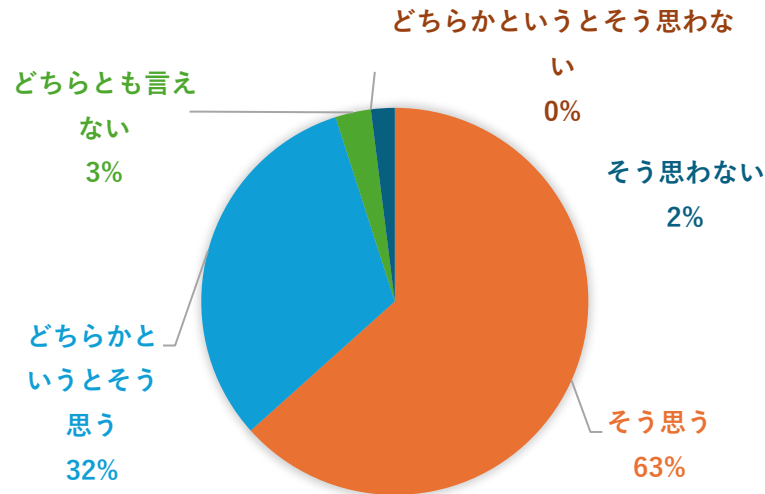
- ・ 引き続きこれまでのふるさと探究を踏襲しつつ、より改善できるよう進路指導部でも検討を重ねていく。

生活「やり抜く力・心身の健康・レジリエンス」 の育成

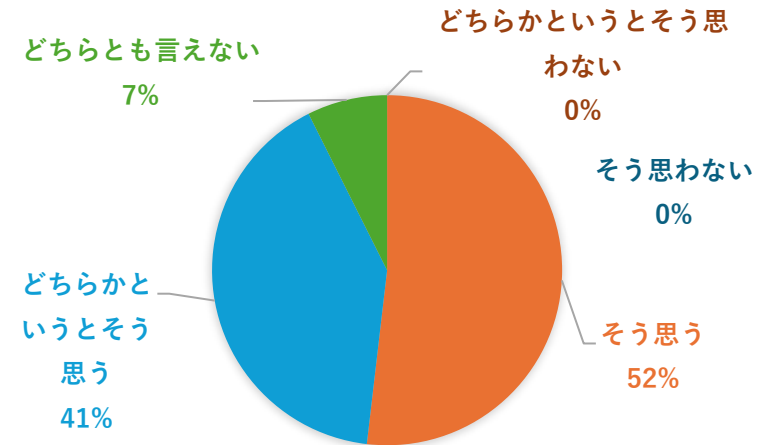
問7 あなたは、学校行事や部活動等において、目標達成に向けて仲間と協力しながら粘り強く取り組むことができましたか。



問7 お子さんは、学校行事や部活動等に仲間と協力しながら継続的に取り組んでいると思いますか。



問7 学校行事や部活動等を通して、生徒が仲間と協力しながら目標に向かって継続的に取り組めるよう指導・支援できましたか。



結果分析

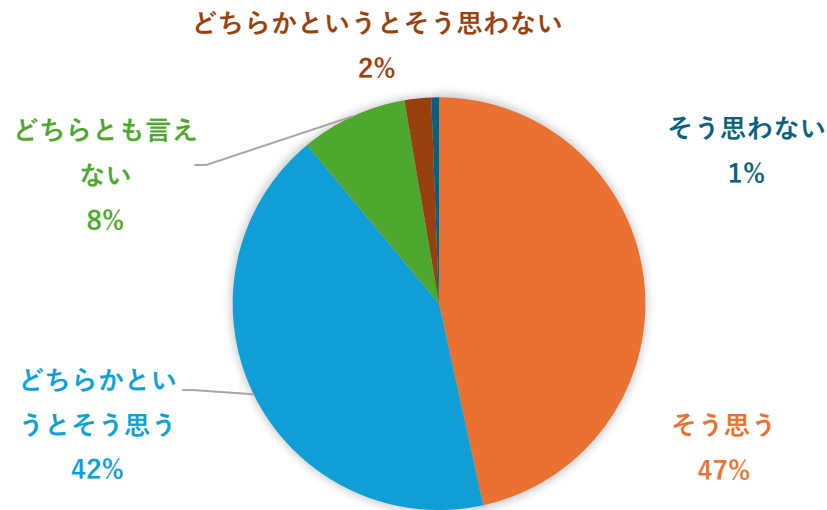
- ・多くの生徒・保護者が肯定的意見である。
- ・保護者の「そう思わない」割合が2%ある。

後期への取り組み

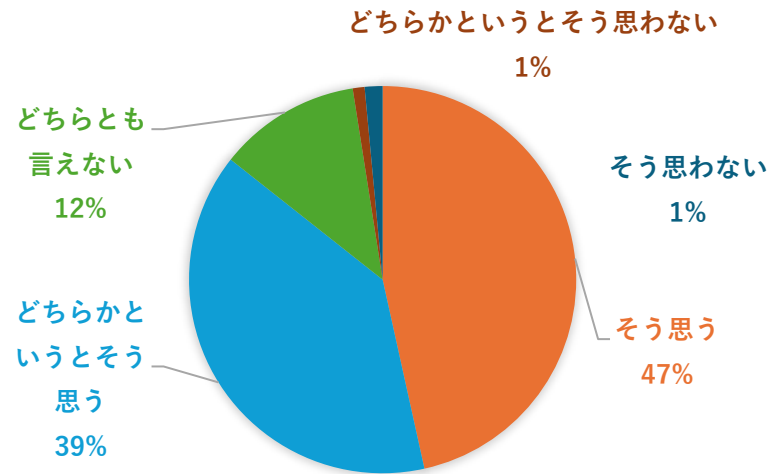
- ・引き続き、励ましながら諸活動への取り組みをサポートする。
- ・保護者は部活動を退部しているご家庭が否定的に回答していると考える。

生活 「やり抜く力・心身の健康・レジリエンス」の育成

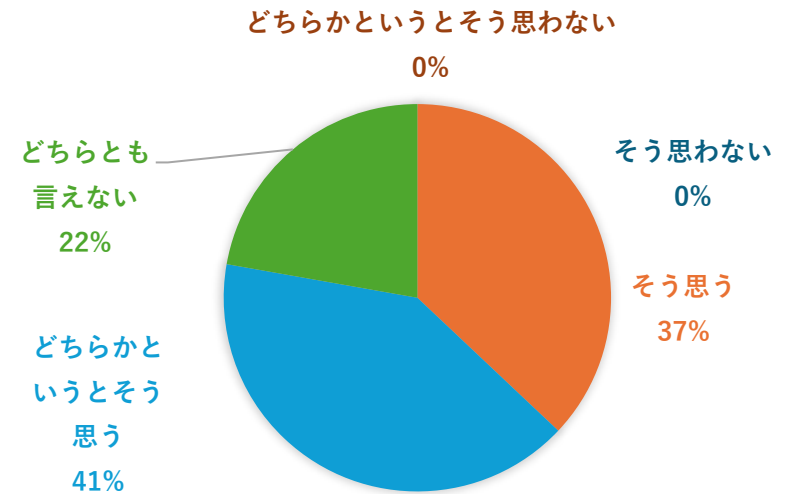
問8 あなたは、生徒会活動や学校行事等で、自ら考えたり仲間と協力したりしながら主体的に活動することができましたか。



問8 お子さんは、生徒会活動や学校行事等を通して、仲間とのつながりを深めながら主体的に活動していると思いますか。



問8 生徒会活動や学校行事において、生徒が主体的に企画・運営し、仲間とのつながりを深める機会を設定できましたか。



結果分析

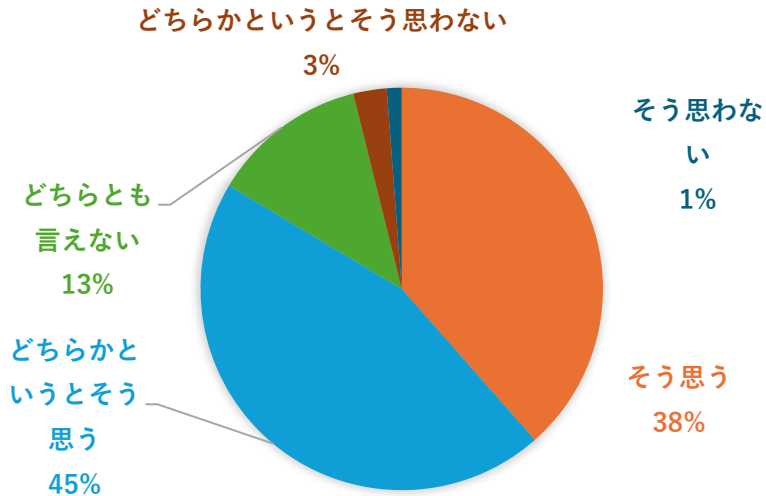
- ・生徒の否定的意見が3%ある。
- ・教員の肯定的意見が低めである。

後期への取り組み

- ・生徒会活動に携わる生徒を、全校生徒に拡大させるように企画運営させる。
- ・生徒の企画のフォローに努める。

生活 「規範意識の醸成、及び持続可能な社会の形成を図る力」の育成

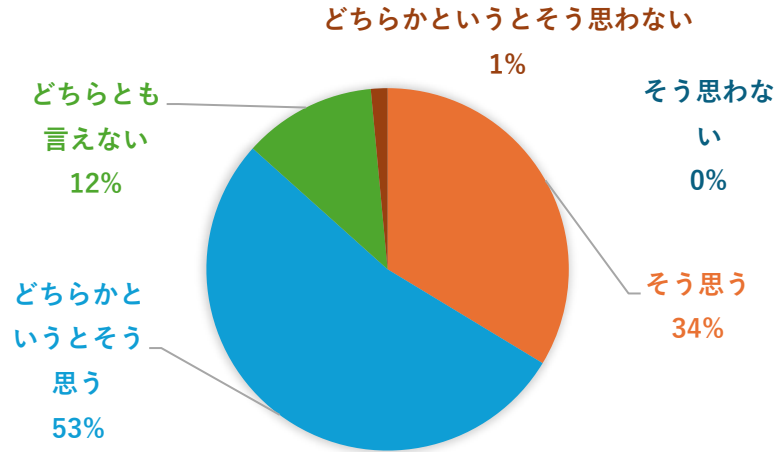
問9 あなたは、学級活動や生徒会活動等において、異なる意見を尊重しながら話し合いに参加することができましたか。



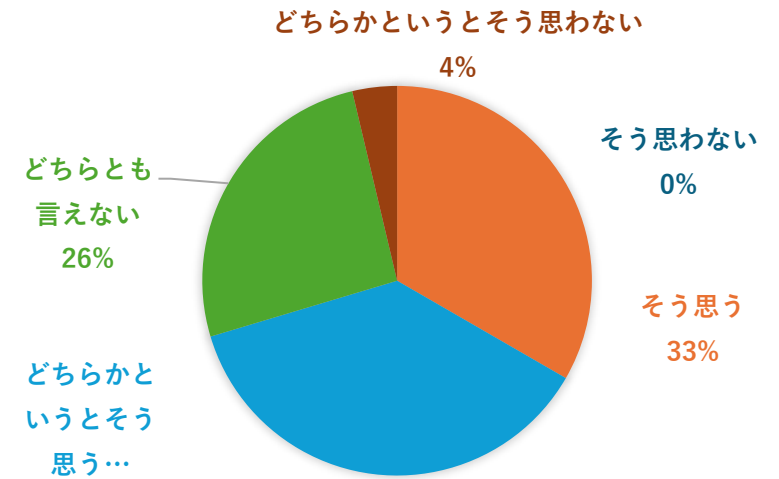
結果分析

- ・生徒、保護者、教員、三者とも肯定的意見が少ない。
- ・教員の否定的意見が4%ある。

問9 お子さんは、学級活動や生徒会活動等を通して、他者の意見を尊重しながら協力して物事を進める力を身に付けていると思いますか。



問9 学級活動や生徒会活動等において、生徒が多様な意見を踏まえて話し合い、合意形成を図る機会を設定できましたか。

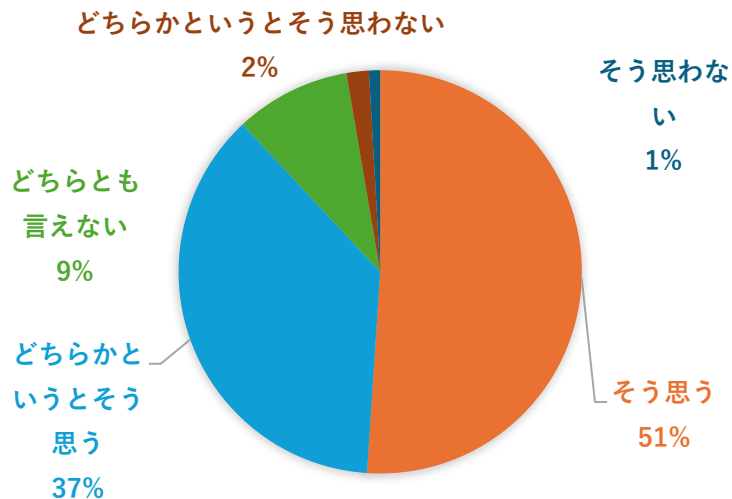


後期への取り組み

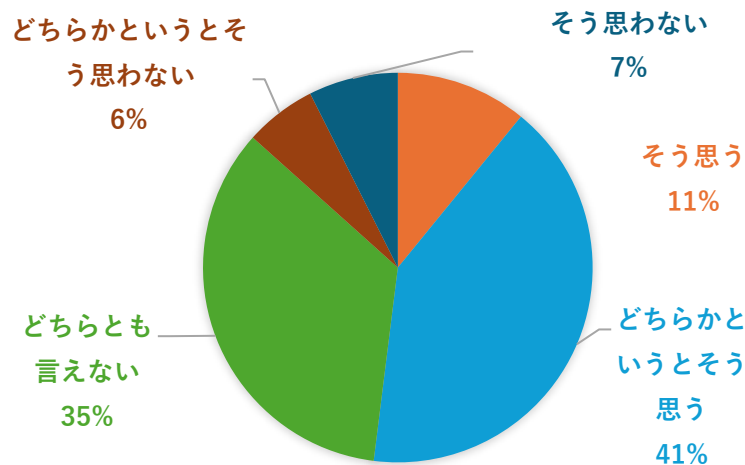
- ・引き続き、学級活動や生徒会活動等を通して、多様な意見を調整する活動を設定し、価値づけをする。
- ・合意形成を経て行う取り組みを設定する。

GIGAスクール構想の推進

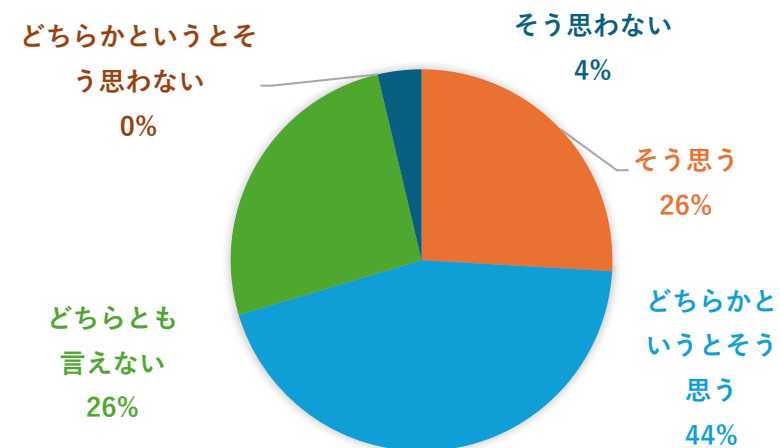
問11 タブレットを活用することで、自分に合った方法で学習したり、友達と協力して学ぶことができましたか。



問11 タブレット端末によってお子様の学習への意欲や理解度が高まっていると感じていますか。



問11 タブレットを活用することで、生徒一人ひとりに応じた学習支援や、多様な考えを生かした協同的な学びを実現することはできましたか。



結果分析

- ・ GIGA端末を活用した学習に一定の効果を感じている生徒もいる一方で、そうでない生徒もいる。
- ・ 協同的な学習でタブレットを使用する機会が増えた。

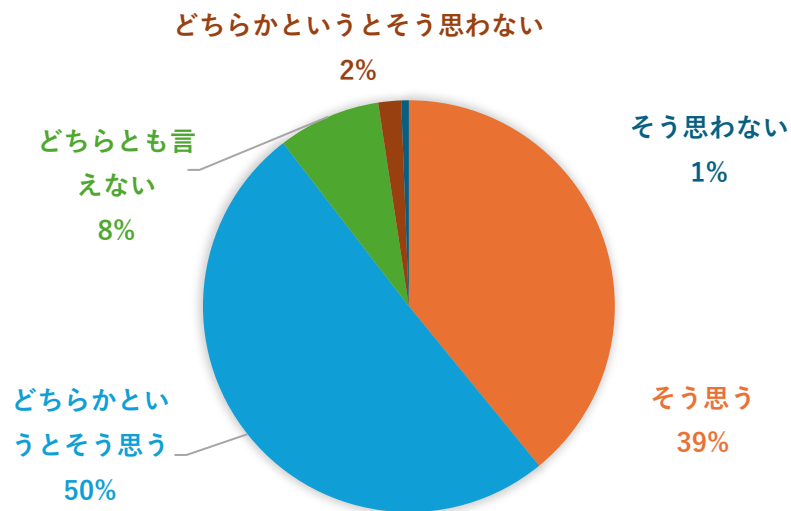
後期への取り組み

- ・ ミライシード等を活用した、個別最適な学びを進める。
- ・ 教員間で実践例を共有する。
- ・ 協同的な学びを充実させる。

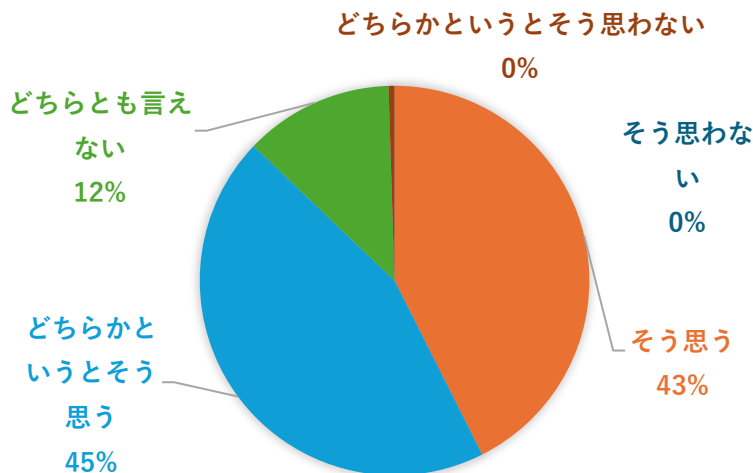
コミュニティ スクール 推進

「西東京ふるさと探究学習」の推進

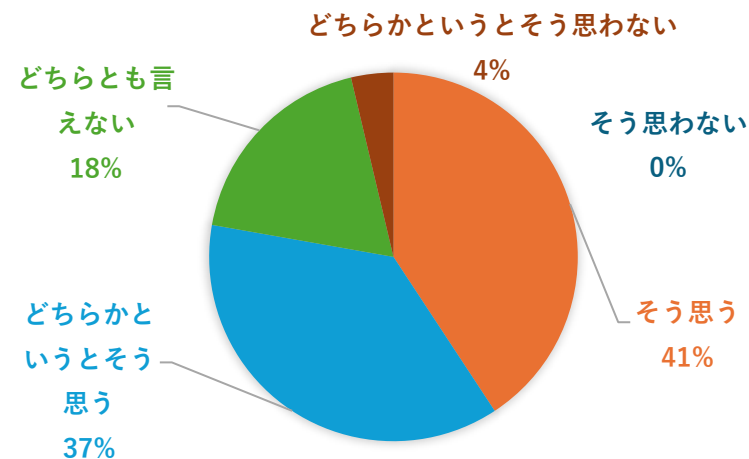
問10 ふるさと探究学習では、西東京市の課題や解決策について考えることができましたか。



問10 学校はふるさと探究学習等、地域の人材を活用した教育活動を行っていると思いますか。



問10 ふるさと探究学習では、地域の人材を活用し、生徒に地域の課題やその解決策を考えさせるような場面をつくることができましたか。



結果分析

- ・地域人材を活用することができた。
- ・地域の課題やその解決策について考えさせるような取り組みをすることができた。教員はより深まりのあるものにしたと考えていると思われる。

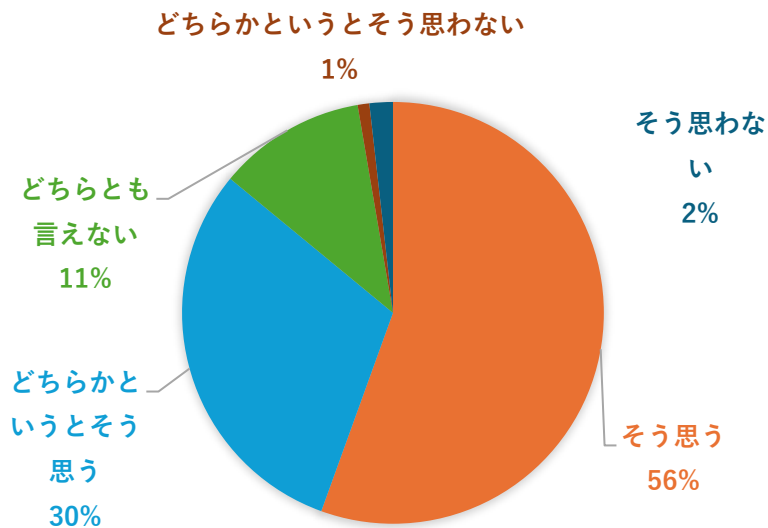
後期への取り組み

- ・今年度の各学年の取り組みについてまとめ、次年度に引き継ぎ、学校として系統性のある指導ができるようにする。
- ・人材バンクの一覧化を進める。

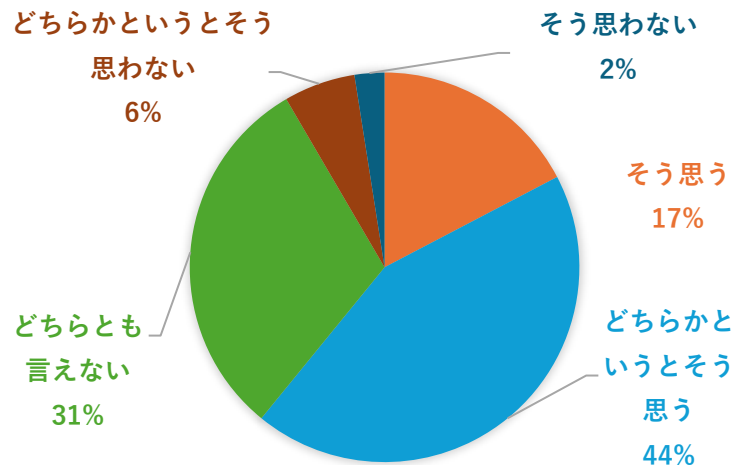
教育相談・ 不登校対策

「特別支援教育」の推進

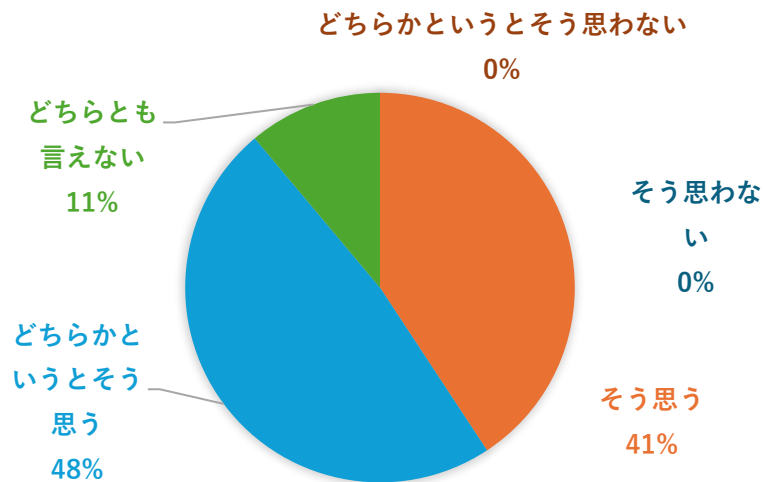
問12 学校には、困ったときに相談できる先生や大人
がいますか。



問12 学校はお子さんの困りごとや悩みを相談しやすい体制が整っていると思いますか。



問12 支援が必要な生徒について、校内・関係機関との連携し、支援に向けた対応が行われていると思いますか。



結果分析

- ・生徒の86%、教員の89%が肯定的で、相談・支援体制は一定の評価を得ている。
- ・保護者の肯定的回答は61%で、「どちらともいえない」が31%あり、相談体制の周知が課題と考えられる。

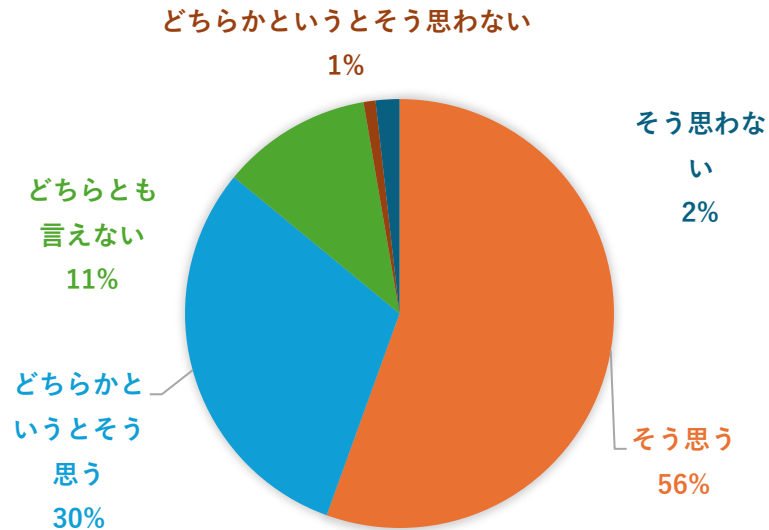
後期への取り組み

- ・生徒の困りごと等を早期に把握し、必要な支援につなげる。
- ・相談窓口等の周知を図るとともに、SCや関係機関との連携を継続し、支援体制を充実させる。

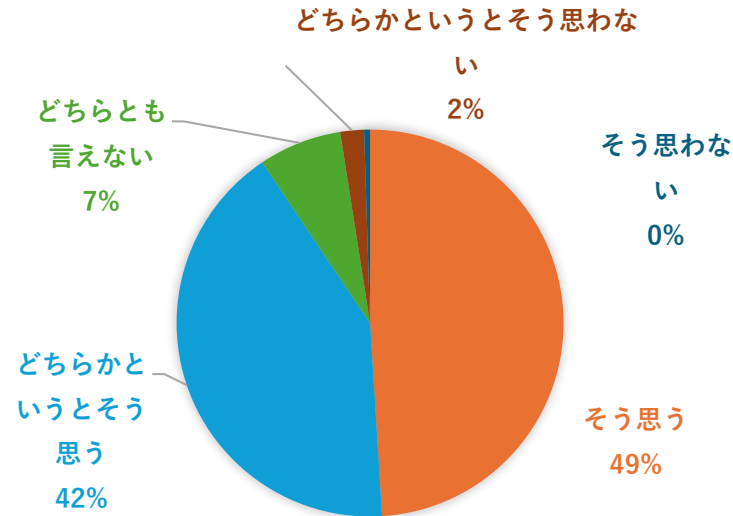
あったか先生

「西東京あったか先生」の推進

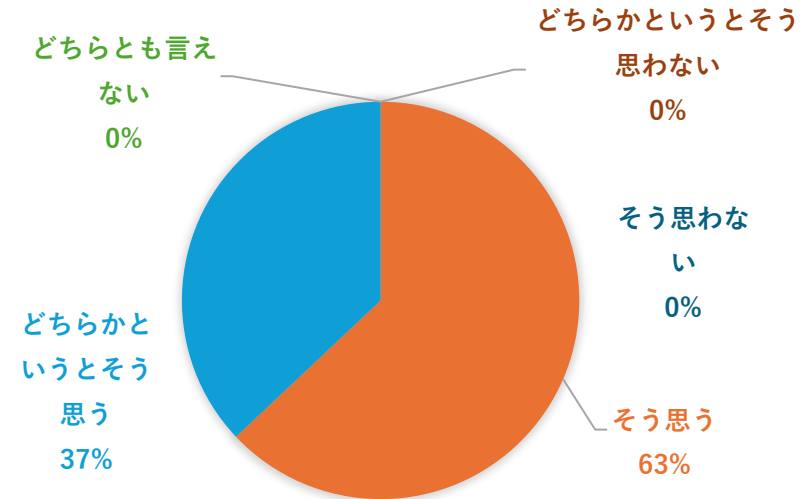
問12 学校には、困ったときに相談できる先生や大人がいますか。



問13 先生は、丁寧な態度や言葉づかいで接していますか。



問13 生徒に対して、丁寧で分かりやすい説明を心掛け、実践していますか。



結果分析

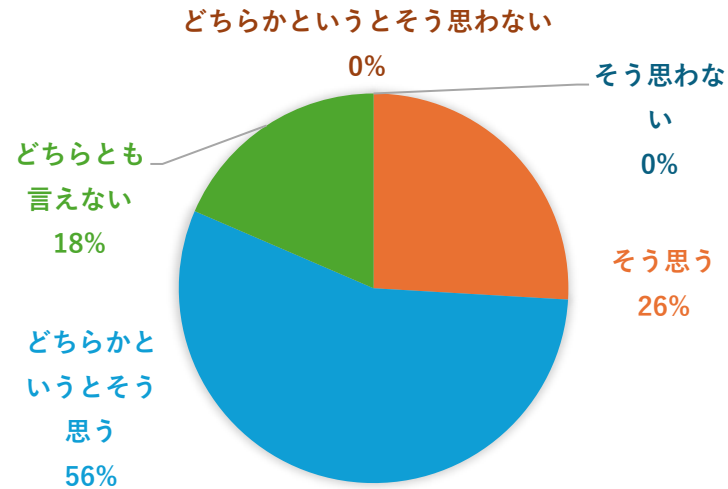
- ・生徒・保護者から肯定的な意見が8割以上になっている。
- ・生徒・保護者からは否定的な意見も出てきており、教員の認識とのずれが見られる。

後期への取り組み

- ・研修を通して、自己の対応を振り返る機会を設ける。
- ・さらに丁寧な対応を心掛けるよう、教員間で相互に声を掛け合う。

「ライフワーク・バランス」の推進

問14 職員室が使いやすく動きやすいようにレイアウトされ、それが効率的に仕事を行うことにつながったと思いますか。



結果分析

- ・ 多少の退勤時間や整理整頓の意識づけができた。
- ・ 改善の実感があまりなく、現実的な改善が難しい

後期への取り組み

- ・ 職員室改善に向けた具体策の提案。
- ・ 退勤や机上整理等の呼びかけの継続